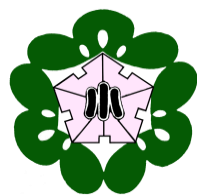


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高松

令和2年8月24日 9月号

立川市立第五小学校

校長 藏重 佳治

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238~9

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es05/>

二学期も宜しくお願いたします

校長 藏重 佳治

子供たちは夏休みの思い出を胸に、元気に登校してきました。例年より短く、行動にも自粛がかかったこの夏休みでしたが、各ご家庭で工夫をし、有意義な日々を過ごしたことが、子供たち一人一人の表情からも伺えます。また、1学期終了時の「学校だより」では、夏休みの過ごし方として、新型コロナウイルス感染症への対策に対して、「油断は禁物」「これまでで得た経験から、しっかりと対策を取り入れながら、この夏休み期間中をお過ごしください」とお願いをしましたが、この夏休み期間中、感染を疑う連絡はなく、無事に2学期を迎えられますことに、本当に感謝申し上げます。

本日、子どもたちの明るい笑顔とともにスタートできましたが、「新しい生活様式」「With コロナ」を意識しながら取り組んで参ります。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力を宜しくお願いたします。

この夏休み期間中、七月いっぱいの長梅雨が明けた途端、一気に気温が上がり「猛暑」「酷暑」となりました。これまで日本は、気候穏やかな「四季の国」として、「春」「夏」「秋」「冬」それぞれの趣きを味わいながら生活してきました。しかし、最近では、雨が降れば「豪雨」として、1時間あたりの降水量が80mmを越え、各地で川が氾濫し、多くの家屋が水没する災害へとつながります。また、気温が上がれば、各地の最高気温が示され、「最高気温は、〇〇市で41℃を越えました」「命に危険な暑さです」と連日報道され、多くの方が熱中症で救急搬送されます。夜、窓を開け、虫の鳴き声を聞き、涼みながら読書と「秋の夜長を楽しめた時代も遠い昔のように感じます。

私の担任時代、総合的な学習の時間の授業において、「環境問題」をテーマに、子供たちが調べ学習に取り組んだことがありました。多くの子供たちが「地球温暖化」を調べ、今できる対策を子供なりに提言していましたが、その後十数年という月日の流れの中、想像を遙かに超えた勢いで、「地球温暖化」は進み、我々の生活を脅かしています。

「コロナ感染症対策」「熱中症対策」、自然災害に対する「防災対策」「避難所対策」等々、我々を取り巻く環境は年々変化し、その対策は多岐にわたっている中、同時期に複数の対策が降りかかってきた場合、本当に対応していけるか、予測不能なだけに不安にもなります。

1学期の休校中に、今年度実施する行事や今後の児童の授業日数について検討してきました。子供たちが楽しみにしていた行事も中止になったものもあります。また、今後の情勢によっては延期していたものも、中止の判断を下さなければならないこともあります。

学校では、2学期の期間中に来年度の行事を含めた「教育課程の編成」作業に取りかかります。例年の慣例に沿った作業に終わらず、不測の事態をも想定した柔軟な「教育課程」となるよう、職員一同知恵を絞りながら進めて参ります。